

【エリアの特性】

＜自然＞

古川など多く水路が流れる水際のまち

古川や寝屋川第七・第八水路など多くの水路が住宅地内を流れ、その活用が望まれます。

＜歴史・文化＞

旧集落・街道筋を守り育てるまち

中央を東西に旧交野街道（太秦黒原線）が通り、その道筋の対馬江西町、高柳四・六丁目付近に旧集落地が位置しています。

また、黒原城内町の宝町黒原線や神田黒原線、仁和寺黒原線のまちなみは、旧集落の面影が残っています。

＜人工・都市＞

幹線道路の整備を活かしたまち

北西部のエリア境界に京都守口線が通り、その道路沿いには工場、自動車展示場、流通業務施設などが立地しています。（都）千里丘寝屋川線や（都）梅が丘黒原線の整備により、沿道には建物が建ち並ぶなど、まちなみが増えています。

また、総合センター、池の里市民交流センター、第九中学校、西、啓明、和光小学校など多くの教育施設が位置するとともに、池田北住宅地区や高柳地区の公営住宅の建て替えなどにより、まちの様相も変わりつつあります。

景観整備の方向

街道筋であった歴史を大切に、幹線道路と水を活かしたうらおいと活気を育むまち

景観形成の基本目標

景観形成に向けた誘導基本方針

＜自然＞

●かつての水運・物流の道であった古川、「ひだな」のあった寝屋川第七・第八水路、対馬江第一水路、黒原第一水路などの水際を活かしたまち

●河川、水路を活かす。
・古川、寝屋川第七・第八水路、対馬江第一水路 黒原第一水路などかつての水郷地として面影を大切にしながら水を演出

＜歴史・文化＞

●旧交野街道沿いの対馬江、黒原の旧集落地、高柳天満宮の社寺、社寺林を活かし、古くは物資運搬の水路であった古川などの歴史が感じられるまち

●歴史を感じられるよう演出する。
・高柳天満宮などの社寺、社寺林、対馬江、黒原の旧集落地などの歴史的資源の活用
・寝屋川第七水路沿いの「ひだな」や旧交野街道、かつての水運路であった古川などを歴史資源として活用

＜人工・都市＞

●公営住宅団地の緑や小・中学校校庭の緑、生産緑地の緑などを活かすとともに、（都）千里丘寝屋川線や（都）梅が丘黒原線の整備を活かした活性化をめざすまち

●幹線道路に通ずる緑豊かなうらおいと活気のあるまちにする。
・公的住宅の緑化の推進
・小・中学校校庭の緑化の推進
・生産緑地の活用
・幹線道路沿いのまちなみの誘導

景観資源と特性図

③池田西町、葛原新町付近の
池田北住宅地区都市居住更新事業



- (凡例)
- 旧街道
 - 商業施設・商店街
 - * ため池
 - 河川・水路
 - 農地・斜面緑地
 - ★ 社寺・鎮守の森
 - 公園・広場
 - 学校教育施設
 - ▲ その他公共施設
 - 低層戸建住宅地
 - 中高層住宅団地
 - 旧集落地
 - 景観単位及びその周辺の整備目標
 - 文化と歴史のネットワークルート
 - 自歩道(既存)
 - 自歩道(計画)
 - *** 緑道(既存)
 - ☆ ☆ 緑道(計画)
 - □ □ 北河内広域自転車道

■景観基本単位

名 称	<旧集落地>対馬江東、西町、高柳4、6丁目	<旧集落地>黒原城内町
景観整備の目標	○旧交野街道付近の対馬江旧集落に残る正月行事である「しょうごん」などの伝統行事を大切にする。 ・古い民家、社寺などの古いまちなみと付近の田園風景を守り・育てる。	○旧交野街道南側の黒原旧集落地の古いまちなみを守り・育てる。 ・旧集落地付近の水辺を大切にする。
活用する景観資源	○古いまちなみの活用 ○社寺や社寺林の活用 ○田園風景の活用 ○歴史に親しめる散策路として旧交野街道を活用	○社寺、古いまちなみの活用 ○水路の流水の確保 ○歴史に親しむ散策路として古いまちなみを活用